ドキュメンテーションでつながる保育実践

こどもの育ちを支える AWARD 2026

こどもの一生の土台をつくる乳幼児期。
その大切な時期の育ちを支えるのは、
こどもの姿をしっかりと捉え、
一人ひとりの想いを尊重する保育です。
園から、家庭へ、地域へつながり、
社会全体でこどもの育ちを支えていく。
そんな保育実践の価値を全国の先生と分かち合い、
日本全国に伝えていきたい。
その願いからこのアワードが生まれました。
多くの先生方の参加を心からお待ちしています。

主催：株式会社ベネッセスタイルケアグループ

応募・審査について

応募してほしい事例

「こどもの姿」を真ん中に保育がつながった事例

アワードのための“華々しい活動事例”ではなく、
日々の保育の中で先生の心に残っている事例

審査観点

- 保育者が「こどもの姿」をとらえているか
- こどもの育ちを支える先生の「まなざし」があるか
- 活動の真ん中に、こどもの「興味関心や葛藤」があるか

こどもの姿をとらえる 6 つの実践の「まなざし」

保育者がこのまなざしをもって「こども理解」を深めることで、
日々の保育はもっともっと豊かになる。

01 先生自身の心が動いたこと

02 こどもの興味・関心や夢中になっていること

03 こどもが挑戦して乗り越えようとしていること

04 周囲との（人・もの・コト）こどもの関わり

05 こどもの中で育っているもの

06 遊びの展開・発展

応募資格

以下の要件を満たす
日本全国の保育園・幼稚園・こども園、
その他幼児教育施設

※1施設あたり複数応募も可

- ☑ 園全体で「こども主体の保育」を志向した保育実践に取り組んでいること
- ☑ ドキュメンテーションを週1回程度以上作成・活用していること
- ☑ ドキュメンテーションを保育の振り返りや活動計画に生かしていること

※ドキュメンテーションの作成方法は問いません。紙で作成していても、
デジタルツールやICTのシステムを使っていても大丈夫です。

応募概要

【スケジュール】
応募期間：2026年8月10日（月）〜 10月15日（木）17:00締切
審査期間：2026年10月15日（木）〜 11月下旬
結果発表：2026年12月上旬（「ホイクテラス」ウェブサイトにて発表予定）
授賞式・事例発表会：2026年12月下旬 〜 2027年1月上旬

【提出いただくもの】
- 園基礎情報
- 「こどもの姿」を真ん中に保育がつながった活動事例
- 活動説明文の入力　・保育者のわくわく　・こどもの姿　・保育者の支援　・活動でみられたこどもの育ち　・活動を通して生まれたつながり　など
- 活動の展開がわかるドキュメンテーション　・3日〜 5日分　・PDFファイルまたは画像ファイル

作成規程・注意事項

●提出いただくドキュメンテーションは、ICTで作成したもの・手書きを問わず応募可能です。文字が判読可能なものをご提出ください。●応募いただいた資料は、アワードの広報活動や事例紹介のために使用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。●参加いただいた施設のお名前と県名を審査後の発表サイト（ホイクテラス）にて公開いたします。

個人情報の取り扱いについて

応募に際して、園児の個人情報の取り扱いについての保護者承諾の確認をお願いします。「こどもの育ちを支えるAWARD」ではドキュメンテーションによる保育実践の記録や情報をご提供いただきます。お写真やお名前が掲載されている場合は、保護者の方や保育者の方の事前の確認をお願いします。応募いただいた情報・ドキュメンテーションをWebサイトやセミナー、メール、SNSなどでご紹介する場合があります。

（参考）よろしければ保護者への承諾に関して下記をご利用ください。
【保育施設さま向け】「こどもの育ちを支えるAWARD」ご応募にあたり：PDF
【保　護　者　向　け】保育記録等のデータ利用についてのご承諾のお願い：Word
【保　護　者　向　け】保育記録等のデータ利用についてのお知らせ：Word

応募はこちらから

Googleのアカウントがない方はこちらから

賞の種類

さらに深く、こどもを真ん中にした保育を実践していくために。

最優秀賞の園の公開保育を実施し、園の職員の方の学びになる機会を創出。
全国の園のみなさんの学びになるようにその様子の配信も予定。
※公開保育の時期につきましては受賞園と相談のうえ決定していきます。

最優秀賞

もっとも深くこどもの姿を捉えた実践に授与

副賞

賞金10万円
＋トロフィー

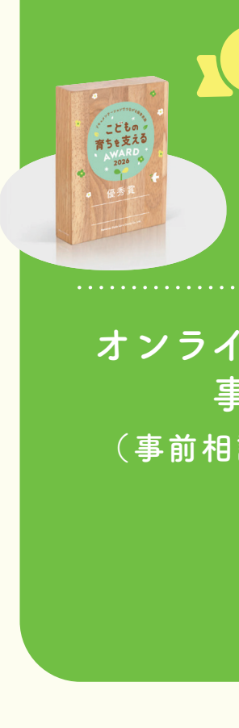
公開保育の実施
（事前相談＋ファシリテート付）

「たまひよONLINE」での事例掲載

優秀賞

学びを全国に広げる実践に授与

副賞



賞金5万円
＋トロフィー

オンライン勉強会での事例発表
（事前相談＋サポート付）

参加賞

応募いただいたすべての園に授与

副賞

参加の証

「こどもの育ちを支えるAWARD」参加ステッカー

公開保育・勉強会の優先案内

審査員

こどもの育ちと向き合い続けてきた
3名の審査委員

審査委員長

大豆生田 啓友 先生
玉川大学教育学部 教授

多くの園が大切にしている「こども主体の保育」。ドキュメンテーションは、その実践を可視化するための最高のツールであり、この国が「こどもまんなか社会」をつくっていくための、極めて大切な一歩になる取り組みだと確信しています。ぜひ気軽に参加してみてください。挑戦するプロセスに学びがあり、みなさんの日々やっていることにこそ、大きな価値があるのです。素敵な保育実践に出会えることを、心から楽しみにしています！

審査委員

宮里 暁美 先生
大阪総合保育大学 特任教授

こどもたちの笑顔は保育者である私たちの喜びです。こどもたちの「やりたい！」が発揮されるようになると保育はどんどん面白くなります。こどもたちの姿に目を止めて声を聞く。一緒に笑い一緒に驚く。こどもが何かに夢中になるように、保育者たちも何かに夢中になる。そんな風にして紡がれた「こどもと保育者がおりなる豊かな保育の物語たち」が集まることで何が始まるの？とっても楽しみです。皆様ご参加ください。

審査委員

佐伯 絵美 先生
合同会社子どもベース

皆さんと同じく保育者としてドキュメンテーション作成してきた私は、その“プロセス”や“周辺にある人とのつながり”によって育てていただきました。カメラを持ち「想いを聞かせてください」という意識で子どもの世界に入ることから始まるドキュメンテーション作成のプロセスは、私たちをより魅力的な保育の世界に連れて行ってくれることと思います。ついお喋りしたくなってしまうそんな物語を、是非、私たちにもお聞かせください。

アンバサダー

アワードへの応援メッセージ

Photo by Takayuki Abe

tupera tupera（ツペラ ツペラ）さん

亀山達矢と中川敦子によるユニット。2002年より活動を開始。オリジナルの布地による小物制作、イラストレーション、絵本などの分野で活動しています。

世界中の全ての大人に共通している唯一の事は、“元こども”だということではないでしょうか。内なるこどもの部分と大人の部分をバランスよく合わせ持った人はとても魅力的です。こども時代に豊かな経験をし育ち、魅力的な大人がもっと溢れる世の中になってほしいと思っています。未来を担っていくこどもたちと日々接していらっしゃる保育現場の皆さんは、この先の時代を作っていく大切でやりがいのあるお仕事をされているかと思います。「こどもの育ちを支える実践アワード」が、そうした皆さんを応援し豊かな未来につながるプロジェクトに育つことを期待しています！

応援メッセージムービーを見る

後援

横浜市こども青少年局

日本ソフト開発株式会社（Kid's View）

株式会社コドモン（CoDMON）

株式会社ネクストビート（保育士バンク！）

三和マッチシステム株式会社（おまかせ保育システム）

ユニファ株式会社（ルクミー）

株式会社日本教育新聞社

株式会社MJ（Brain）

自治体・企業名（サービス名）
※左列から五十音順

Copyright © Benesse Style Care Group Co.,Ltd. All Rights Reserved.